

こんにちは 江尻 かなです



総務企画委員会での質問

詳しくは KANAwebで



日本共産党

税金の使い方が大きく問われた9月県議会。日本共産党は、上野たかし議員が一般質問で、ハツ場ダム工事費を当初の2.5倍に増額(2,110億→5,320億円)することに同意する県政を批判。予算特別委員会では山中たい子議員が、障がいをもつ子どもたちの特別支援教育予算が全国46位という実態を示し、改善を求めました。



- 日々の活動や思ったことを発信しています。
- 「江尻加那」で検索してください。

ハツ場ダム問題を執行部にたずねる江尻議員(9月20日)



江尻かな議員は、所属する県議会総務企画委員会に付託されたハツ場ダム事業費の増額議案に反対しました。(裏面参照)

利根川上流の群馬県につくられるハツ場ダムによって、茨城県は日量約9万トンの水を得ようとしています。しかし、県全体で今でも46万ト

水道料金なぜ高い?

ダムの開発費は県民の水道料金にはね返ってきます。2ヶ月に1度引き落とされる水道料金を「高い」と感じる方も多くいます。

水戸市は、那珂川の水を使って1トあたり152円かけてつくった水道水を、市民に163円で供給しています。そして、自前の水で足りているにもかかわらず、県からも水を買っています。その単価は187円。これは、都道府県が供給する水としては全国一高いと言われています。

投票率18歳48%・19歳38%

7月の参院選で初めて18歳選挙権が実施されました。

主権者教育のとりくみ

茨城県の投票率は18歳が48%、19歳が38%。江尻議員が「19歳が低い要因」をたずねたのに対し、県は「18歳の多くが主権者教育を受け、学校で投票に行くよう指導された一方、19歳は約7割が受けていない」と説明。「大学などに設置する期日前投票所を拡充するなど、投票しやすい環境をつくっていきたい」と答えました。

また「郵便投票の拡大と周知」

2016年参院選投票率

	18歳	19歳	全体
全国	51%	42%	55%
茨城県	48%	38%	51%
水戸市	46%	34%	51%
城里町	43%	40%	51%

を求めた江尻議員。今は障がい者と要介護5の方が対象です。

さらに、県内市町村の8割が、投票所の終了時間を午後6時や7時に繰り上げていることの改善を主張。公職選挙法では原則午後8時とされています。

企業の水だけ値下げ

費増額を認めました。

県の水道事業会計は昨年度32億円の赤字でした。ダムの建設費など払わず、県民の水道料金を値下げすべきです。ところが知事は、企業に供給する工業用水だけ今年度から値下げしました。ここにも、企業優先、県民の暮らしは後回しという姿勢が表れているのではないのでしょうか。

来年秋に、茨城県知事選挙が予定されています。県政を変えましょう。



えじり日記

「県にいったいどうですか?」と声を掛けて頂くことが増えました。「市議の時より活動範囲が広がりました」とお答えしています。▼議会調査や要望相談の内容が広がったのはもちろん、行動範囲も県北、県西、県南、鹿行へと広がっています。▼県道の改善要望で常陸大宮土木事務所へ、労働相談者と一緒に日立労基署へ、鬼怒川決壊調査で常総市へ、県立病院視察で笠間市へ、霞ヶ浦の環境調査で行方市へ、下水道事務所がある土浦市へ、原発問題では何度も東海村へと県内各地にマイカーを走らせました。▼そのたびに、水戸市の課題を再認識します。子育て支援がまだまだ遅れています。『巨大な市民会館建設計画』に見られるように、市民の声が市政や議会に反映されていません。▼それでも今、あきらめずがんばる人達が周りにいます。「どうせ変わらないう」という絶望を乗り越え、「希望」をつないでいこうと。皆でできることがから始めましょう。(江尻)

